

地方公共団体情報システム機構経営審議委員会会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

令和5年11月10日(金)15時00分～16時00分

(2) 場所

Web開催

2 出席委員の氏名

委員	岩崎	尚子
"	大山	永昭
"	梶田	恵美子
"	北岡	有喜
"	知野	恵子
"	能條	嘉幸

3 議事の要領

別紙のとおり

以上

地方公共団体情報システム機構

経営審議委員会委員長 大山 永昭

(別紙) 議事の要領

1 開会

理事長 9月末にマイナポイント第2弾の申し込み期限が終了し、この間マイナンバーカードの普及が大きく進み、11月1日時点の申請数は、人口比78%の約9,855万人に達したところです。今後は国において、健康保険証だけでなく、運転免許証や在留カード等との一体化、海外での継続利用の開始など、マイナンバーカードの利便性・機能の向上に係る取組が進められるものと承知しております。機構におきましても、これらの取組に確実に対応し、安定的なシステムの稼働を通じてマイナンバーカードの利用シーンの拡充を支えてまいります。

また、マイナンバー制度全体に対する信頼向上のため、引き続きマイナンバー総点検に関する対応など、国・地方の取組と一体となって、機構における点検関連業務を着実に実施してまいります。

本日の議題については、次期 LGWAN の構築につきまして、自治体の皆様方から早期のガバメントクラウドへの接続要望を受けたところであり、当機構としましても、できる限り構築の前倒しを行うこととし、令和6年10月頃の運用開始に向けて、検討・調整を進めてまいりました。

なお、ガバメントクラウド接続への対応等により、構築費用の増加が見込まれますが、これにより、地方公共団体の負担金に影響が生じることがないように、国に対して、財政支援をお願いしてきたところです。

本日は、こうした内容を踏まえまして、令和5年11月補正予算案についてお諮りさせていただきます。

2 議事

(1) 令和5年度11月補正予算(案)

委員 地方公共団体の負担金が増えてしまうことは、かなり厳しいため、国の補助金の見込みが立ったことは、地方公共団体にとってもありがたい話だと思っている。

これから、新旧 LGWAN を並行稼働する期間もあると思うが、システムが止まってしまうと非常に影響があるため、安定稼働させながら更改作業を行っていただきたい。

委員長 並行稼働に関して、リスクをきちんと認識し、油断や考え落としが無いよう、しっかり対応していただきたい。

委員 マイナンバー関連で「前倒し」という言葉に一般の人々はセンシティブになっている状況であるため、関係省庁とも連携して、次期 LGWAN 移行の前倒しをして実現しようとしていること等について、分かりやすく説明することを心がける必要がある。

委員 自治体によって、今回の標準化対応については進捗に差が生じていると思うため、国の補助金の確保など、次期 LGWAN 移行の前倒しの取組を評価したい。

また、ガバメントクラウドとの接続部分について、サステナブルにしっかりと運用されていくことが大事だと考えるため、引き続きその点を踏まえて検討いただきたい。

委員 次期 LGWAN の前倒しにより、どのようなメリットがあるかについて、詳しく説明していただくことをお願いしたい。

事務局 自治体からは、なるべく早くガバメントクラウドとの接続環境を構築してほしいとの声があったことを踏まえ、次期 LGWAN を来年10月に前倒して構築することを目指して、進めている。

ガバメントクラウドへのアクセス回線に悩む自治体にとって、ネットワーク監視等を J-LIS が実施する次期 LGWAN は、自治体に余計な負担をかけることが無いことから、このようなメリットについて、自治体に十分ご説明しながら進めてまいりたい。

委員 メリットについては、自治体だけではなく、一般の人々にも分かりやす

く伝えていただきたい。

委員 救急医療での服薬情報の確認等は、現場からの期待も大きいところである。今後もこうしたマイナンバーカードを利用した様々なサービス展開に、引き続き取り組んでいただきたい。

事務局 マイナンバーカードの利用面、利便性の向上に引き続き取り組むとともに、サービス提供の基盤となる JPKI システムの性能確保と安定的な運用に努めてまいりたい。

委員長 以上の意見を集約し、委員会の意見としてまとめさせていただく。

3 閉会

委員長 以上で、第 40 回経営審議委員会を閉会する。

以上